

設立記念フォーラム

— 東大発の知で社会の課題を解決する —



東京大学政策ビジョン研究センター Todai Policy Alternative Research Institute

開催日時

11月14日(金)

午後3時～5時30分

会場

医学部教育研究棟 14階
鉄門記念講堂

「課題先進国日本と政策ビジョン研究センターへの期待」

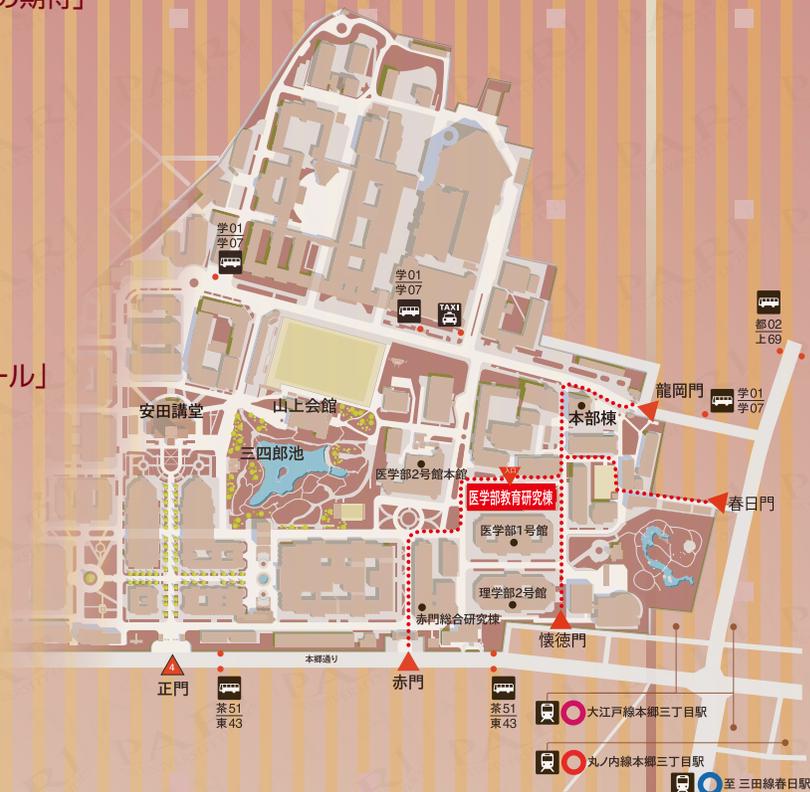


小宮山 宏
こみやま ひろし
東京大学総長

「政策ビジョン研究センターのミッションとゴール」



森田 朗
もりた あきら
政策ビジョン研究センター長



設立記念フォーラムのプログラム

1 オープニング

15:00～15:10	小宮山 宏総長	「課題先進国日本と政策ビジョン研究センターへの期待」
15:10～15:30	森田 朗センター長	「政策ビジョン研究センターのミッションとゴール」

2 研究ユニット等からのプレゼンテーション

15:30～15:50	田中 明彦教授 (東京大学東洋文化研究所、国際連携本部長)	「北東アジアの安全保障政策」
15:50～16:10	松本洋一郎教授 (東京大学大学院工学系研究科、知の構造化センター長)	「知の構造化とイノベーション」
16:10～16:30	城山 英明教授 (東京大学大学院法学政治学研究科)	「社会の中の原子力法制」
16:30～16:50	永井 良三教授 (東京大学医学部附属病院)	「医療システムの危機」
16:50～17:10	大西 隆教授 (東京大学大学院工学系研究科)	「アジアの都市・地域政策」
17:10～17:30	坂田 一郎教授 (政策ビジョン研究センター)	プレゼンテーションの総括

3 レセプション (ご招待者) 18:00～20:00

場所 東京大学医学部教育研究棟 13階「カポ・ペリカーノ」

政策ビジョン研究センターの紹介

設立の趣旨

現代では、社会で発生する諸問題を解決するために、最先端の研究成果を活用した政策の形成が求められています。東京大学では、これまで教員が個人として審議会等で政策立案に参加し、政策形成に貢献してきました。しかし、大学の社会貢献が求められる今、「アクションプラン 2006」にも述べられているように、国立大学法人としての東京大学が政策形成の知的リソースを提供し、政策の選択肢を提示することは、その役割の一つといえます。そこで、総長室の下に、シンクタンク機能を果たす政策ビジョン研究センター (Todai Policy Alternative Research Institute) を設置しました。

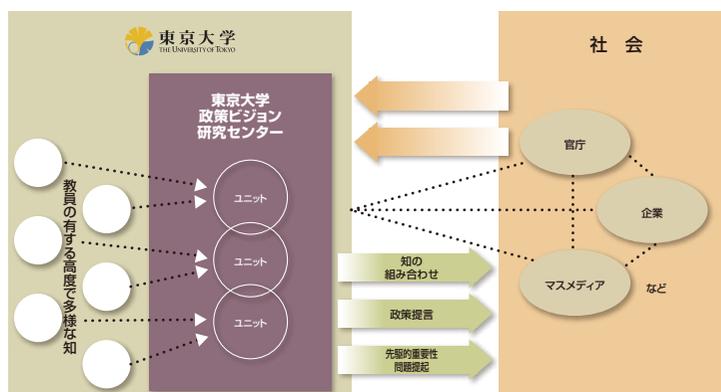
センターの概要

政策ビジョン研究センターは、以下のようなシンクタンク機能を持つ発信機関です。

- 政策に関する提言をセンターが自ら発信するとともに、学内のさまざまな部局等による研究成果からアイデアを汲み上げ、政策の選択肢として社会に発信します。
- 多様な研究者を擁する総合大学の利点を生かし、多分野のネットワーク構築によって、それぞれの分野単独では発見できないような課題の探知とそれに対する総合的な解決策を模索します。
- 多角的な研究発信を行うために、学内の諸部局をはじめ、官庁、企業、マスメディア、NPO、その他の組織とネットワークを形成し、相互の交流と政策研究の活性化を図ります。

研究ユニット

- 政策に関する研究を行う単位を「研究ユニット」と呼び、発信は同ユニットを主体として行います。
- 政策の選択肢の提示は、客観的なデータに基づきメリット・デメリットを明示しつつ、複数の可能性を示し、実際の政策決定に役立つ情報を提供することを原則とします。



■ お問い合わせ・事前参加申込み ■

東京大学政策ビジョン研究センター
Todai Policy Alternative Research Institute

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1
Tel: 03-5841-1708 Fax: 03-5841-1709 Email: pari_forum@pp.u-tokyo.ac.jp

<http://pari.u-tokyo.ac.jp>